

令和7年度日南町立認定こども園にちなん十色 園評価結果

1 園教育目標

教育目標 「ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く子どもの育成」  
 ＊学び続ける力…自分の考えを持ち、遊びきる子ども  
 ＊かかわりあう力…自分を好きになり、友達(人)も大切にできる子ども  
 ＊ふるさとを愛する心…地域に触れ、地域に親しみ自分を表現する子ども

2 本年度の重点目標と手立て

○学び続ける力…まずはなんでもやってみようとして自己決定する子の育成(自己決定)  
 ・子ども主体、見守る保育の意義を熟識し、理解を深めながら関わっていく。  
 ・ねらいに応じた選択制の保育、興味、関心のある環境設定。  
 ・STEAMS 教育の中で「やってみたい」を育む。  
 ○かかわりあう力…やってみて楽しかった事、発見を自分の言葉で伝える子の育成(異年齢遊び)  
 ・異年齢児保育の中で、言葉でのやり取りすることで修得する力をつけていく。  
 ・かかわりを大切にされた保育、人権保育への取り組み。  
 ・大人のチーム保育をより一層充実させ、子どものかかわりを支援できる力につなげる。  
 ○ふるさとを愛する心…多様な人、物との出会いから自尊感情を育む(地域に親しむ)  
 ・農業体験・CS 活動でできるだけ多く地域の方と交流し、日南町を知る。  
 ・絵本の読み聞かせ・素話の効果を理解し取り組む。  
 ・異文化に触れる活動(英語教育)から言葉、文化に興味を持つ。

3 今年度の振り返り

評価項目	理由
学び続ける力	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食の食べきれる量の調節が上達するなど、自分で考えて決める成果が見られる。</li> <li>講師派遣研修(せいが子ども園)において、見守る意義(失敗から立ち直る力、自分で解決する力)や大人が正しく導く重要性等「見守る保育」のあり方を再認識する。</li> <li>親子絵本貸出(がんばるウィーク)は、保護者からも好評であり、読み聞かせの重要性や定着に向け、引き続き取り組んでいきたい。</li> </ul>
かかわりあう力	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の存在が身近になり、遊び、着脱など友達から刺激を受け、自らやってみようとする姿につながってきている。</li> <li>大人を介さず子ども同士のコミュニティが、未満児(0歳児)から形成されている。</li> <li>年下児とのかかわりで見本となるよう励む姿が自信につながっていると、保護者からも異年齢保育への良い評価を得ている。</li> </ul>
ふるさとを愛する心	<ul style="list-style-type: none"> <li>CS 活動が、子ども達の新たな姿の発見につながる意味のある時間になり、職員も知識を得たり、言動に触れたりすることで、大きな刺激や学びの機会となった。</li> <li>英語活動は年間計画や月の目標を立て、アルファベット、数、色など全年齢で取り組むことができ、年長児では18人中17人が楽しいと回答するなど英語に親しめている。</li> <li>今年度「イメージカ」への取り組みで、全園年長児が年間を通して素話体験をした。</li> </ul>

4 来年度に向けての改善策

【非認知能力の育成】  
 ○学び続ける力…初めての事に挑戦し、失敗しても再度挑戦することで「やればできる」と思える(自分を信じる力)  
 ・講師派遣研修(せいが子ども園)の学びを実践の場で振り返り、日南町の見守る保育を確立していく。  
 ・STEAMS 教育を通じ、子どもたちが自ら考えて答えや遊びを創り出し、試行錯誤を繰り返しながら挑戦し続ける力を育む。  
 ・絵本の読み聞かせやメディア利用、社会性の発達を柱とし、保護者とともに家庭教育の重点を見出し、支えていく。  
 ○かかわりあう力…自分の気づいた事や気持ちを言葉で伝えることができる(自分の思いや考えを発信する力)  
 ・選択制、習熟度別、順序性、年齢別など、活動のねらいに合わせた集団を形成し、かかわりあう力を育む。  
 ・「共存共栄」の理念に基づき、友達への配慮を持ったかかわり方について、大人も子どもも意識してかかわる。  
 ・大人が問題を解決せず、子ども同士で助け合ったり、失敗から立ち直ったりするのを待つ姿勢を共通理解する。  
 ○ふるさとを愛する心…地域の人とのかかわりの中で新たな自分や自分の良さに気づく(地域を知り自分を知る)  
 ・SC 交流(スポーツクラブ)では年間を通して身体作りに取り組み、その成果を運動会で表現していく。  
 ・CS 交流を充実させるとともに、生活場面でも地域の人と交流し認められることで、自己肯定感を高める。  
 ・0歳児から年間計画に沿って定期的に英語に触れ、多様な音や表現に親しむ中で、言葉の壁を感じることなく意思疎通を図る体験を積み重ね、豊かなコミュニケーション能力の基礎を育みます。

チャレンジしてのびる子ども

日南小学校だより

令和8年3月2日発行

No. 13

【日南町立日南小学校】

TEL (0859)77-1200

FAX (0859)77-1201



←日南小HP  
ご家庭の話題  
にHPをご活用  
ください。

## 教育アンケート結果から

2学期末の12月、保護者の皆さんにお願いしました教育アンケートには、たくさんのご家庭が回答してくださいました。ありがとうございました。

今年度より、本校教育の取組の重点をご理解いただき、家庭教育との連携をより深めていくために、児童・教職員もそれぞれのアンケートを実施し、取組の充実を図ることを目的に実施しました。

このアンケートでは、肯定的回答率が80%未満の項目は赤字、前期から10%以上アップした項目は青字、10%以上ダウンした項目は緑字で強調しています。本号では、結果の中からその特徴的な項目についていくつか紹介します。

### 【全体的な傾向】

- ・高い肯定的回答率: ほとんどの項目で肯定的な回答が80%を超えており、学校運営全般に対して高い評価が得られています。
- ・後期で改善が見られた分野: 多くの項目で後期の回答率が前期を上回っており、学校の取り組みが改善傾向にあることが分かります。
- ・課題が残る分野: いくつかの項目では肯定的回答率が80%を下回っており、今後の改善点として明確になっています。

赤字:肯定的回答80%未満 青:10%以上アップ 緑:10%以上ダウン

単位:%

### 1. 学校の取組と保護者の連携について

		後期	前期
保護者	学校は、教育方針や教育内容を積極的に伝えようとしている。	85	90
保護者	学校だよりやホームページ、学級通信・電話などを通して、学校での様子がおおむね分かる。	90	92
教職員	効果的な「学校、学級だより」等の工夫を行っている。	88	81
教職員	HP、学校だより、CSだより(レゾナンス)等による継続的な情報発信が行われている。	100	94
保護者	学校は、お子さんのことを連絡相談がしやすい。	79	86
保護者	先生は、お子さんのために学習や生活指導等によく努力している。	85	93
保護者	学校の教職員は、適切に対応している。	84	96
保護者	学校やPTAの諸活動に積極的に参加したり、協力したりしている。	77	84
教職員	保護者とともに協働する教育活動に向けて計画的効果的な取り組みになっている。	82	77
保護者	学校は、安全を確保し教育効果を高める施設整備に心がけている。	87	98
教職員	児童の安全確保、生徒指導上の管理に伴い適切な取り組みとなっている。	100	100
教職員	定期的な施設の安全点検と防災訓練の実施はきちんと行われている。	100	100
教職員	教職員として、丁寧なそれぞれの環境整備(整理整頓)を行っている。	94	94

学校だよりや HP を通じた情報発信は、教職員の回答率が前期・後期ともに 100%近く（100%と 94%）と高く、保護者にもおおむね（90%前後）伝わっています。児童の安全確保や施設の安全点検については、教職員の回答率が前期・後期ともに 100%と非常に高く、取り組みが徹底されていることが分かります。「学校は、お子さんのことを連絡相談がしやすい」という項目は後期で 79%と、他の項目に比べてやや低く、80%を割り込んでいます。担任だけでなく、養護教諭、スクールカウンセラー、管理職など、誰にでも気軽に相談できる体制や児童や保護者の方の声へのフィードバックを迅速に行うこととて、「声が届いている」という実感をもってもらえ、心の距離が縮まるような教職員の対応を心がけたいと思います。

## 2. 学び続ける力について

		単位:%	
		後期	前期
保護者	学習用具の忘れ物がないように確認や声かけをしている。	83	86
児童:下	学校に持っていく物を、学校に行く前に(前日に、前の日のうちに)たしかめている。	50	62
児童:上		56	67
保護者	お子さんが学校で使っているノートや連絡帳に目を通してしている。	56	68
保護者	学校で今、どんな学習をしているか知っている。	56	63
児童:下	授業が始まる前に学習用具をそろえて、正しい姿勢で勉強している。	93	83
児童:上		85	75
教職員	児童が主体的に学習活動に取り組むように学習活動を工夫している。	67	80
教職員	児童は学習課題(めあて)を意識して自分から授業に参加している。	87	87
児童:下	自分から進んで勉強している。	91	87
児童:上		60	73
児童:下	先生や友だちの話を目を見て聞いている。	89	96
児童:上		93	90
教職員	指導者の指示、説明、発問等について聴き方について指導をしている。	100	94
教職員	児童が聴いていない状況が見られたとき、聴かせるような工夫をしている。	94	82
教職員	児童は、先生や友達の方を見て最後まで話を聴くことができている。	23	47
教職員	児童は、授業中、分からないところがあれば、「わからない」と伝えたり、質問したり、教えてもらったりしている。	68	73
教職員	児童が学び合うとき、活発に話し合ったり、教え合ったりしている。	73	82
児童:下	自分の考えを進んで発表している。	74	80
児童:上		53	67
保護者	家庭学習が習慣化できるよう、環境づくりや見守りなどをしている。	55	70
教職員	書き取り計算会の取り組みを通して、効果的に児童の学習意欲を高めている。	100	78
教職員	児童は、毎日、家庭学習に取り組んでいる。	53	72
教職員	児童は、計画的に家庭学習をしている。	53	57
児童:下	宿題は必ずしている。	96	98
児童:上		78	84
児童:下	宿題以外にも、自分でやることを決めて家庭学習をしている。	69	80
児童:上		40	46
児童:下	授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろう、と思ったことを調べている。	43	65
児童:上		39	49
児童:下	家でもよく読書をしている。	60	82
児童:上		54	61

保護者	お子さんと将来の進路や夢(目標)について話している。	66	71
保護者	子どもが自主的に取り組もうとしていることに対して、積極的に支援している。	87	93
児童:下	むずかしいことでも失敗をおそれず挑戦している。	93	87
児童:上		66	75

「学習用具の忘れ物がないように確認や声かけをしている」は後期で 83%と高いものの、児童自身（高学年 60%、低学年 91%）の回答率には差があります。また、「学校で今、どんな学習をしているか知っている」は後期で 56%と大きく低下しています。おうちの方がお子さんの学校での学習内容に関心をもつことでも、子どもの学力向上が期待できます。児童の話の聴き方、家庭学習の習慣化が課題として浮かび上がっています。「聞く」ではなく、「聴く…相手の目を見て聴く」という姿勢を定着させることは、自分を高めるだけでなく、自分の思いが語れる、自分の意見が否定されない、最後まで聴いてもらえるという安心感を醸成することにもつながります。また、自ら課題を見つけ継続して予習や自学など取り組むなど、自立した学習態度・習慣の育成を図るとともに、家庭学習のさらなる定着に向けて取り組んでいく必要があると感じています。

### 3. 関わり合う力について

		単位:%	
		後期	前期
保護者	家族があいさつをかわす生活を心がけたり、適切な言葉遣い、公共のマナー等を教えたりしている。	99	97
児童:下	近所の人に会ったときは、あいさつをしている。	75	75
児童:上		75	75
教職員	気持ちのよいあいさつについて指導している。	89	82
教職員	児童は、朝、自分から友達や先生にあいさつ(おはよう)をしている。	71	56
教職員	学校生活や学習で児童の言葉づかいについて指導している。	95	88
保護者	お子さんのよいところを積極的に認め、ほめるようにしている。	95	95
児童:下	集団生活に必要な約束やルールを守っている。	93	94
児童:上		92	90
児童:下	周りに流されず自分が正しいと思った行動ができています。	87	91
児童:上		78	79
保護者	お子さんの話をよく聞くなど、コミュニケーションの力がつくよう心がけている。	84	91
保護者	お子さんに思いやりや親切な心が育つよう心がけている。	87	90
教職員	だれもが気持ちよく学校生活ができるように児童に集団生活について考えさせている。	88	100
児童:下	学級のみみんなで協力してやりとげてうれしかったことがある。	94	89
児童:上		83	94
児童:下	だれとでも話し合ったり、協力したりできる。	94	96
児童:上		80	94
児童:下	学校にこまったときに相談にのってくれる人がいる。	98	89
児童:上		90	87
教職員	縦割り活動など、異学年交流を計画的に実施し継続的な指導ができています。	94	94

あいさつについては、ご家庭でもあいさつの習慣化に取り組んでおられ、「児童は、朝、自分から友だちや先生にあいさつ(おはよう)をしている」という質問に対して、前期と比べて後期は向上しています。自己肯定感や挑戦する姿勢については、多くの項目で高い肯定的回答が得られていますが、「むずかしいことでも失敗をおそれず挑戦している」では、高学年で低い傾向にあります。日頃から、例えば「昨日よりできたこと」「チャレンジしたこと」を認める姿勢を継続し、失敗してもリトライできる雰囲気をつくっていく必要があると思います。

		単位:%	
4. ふるさとを愛する心について		後期	前期
保護者	私たちの住んでいる町のこと(自然、文化、産業、人)を知り、大切に思う教育をすすめてほしい。	92	91
保護者	学校は、「ふるさと学習」(ふるさとを好きになる学習)を推進している。	93	94
教職員	児童は、日南町のことについて学んだり、体験したりするのを楽しみにしている。	100	100
児童:下	学校で、地いきの人といっしょに勉強や活動をするのは楽しい。	91	94
児童:上		78	86
保護者	家族で町のことを話したり、町のよさを伝えたりしている。	61	64
教職員	地域の素材を系統的に取り入れ、ふるさと日南への愛着や豊かさに気づかせようとしている。	94	94
児童:下	自分がすんでいる町のいいところをだれかにつたえることができる。	76	72
児童:上		93	82
保護者	お子さんと一緒に地域の行事に参加している。	76	70
児童:下	地いきの行事に参加している。	78	83
児童:上		88	92

住んでいる町を大切に思う教育に対しての保護者の理解が大きく進んでいます。また、地域学習への取り組みも積極的に推進しており、子どもたちもふるさと日南を素材とした学習を楽しみにしています。「地域行事への参加」や「地域の人との勉強」への肯定感が高い結果になっています。引き続き、地域の宝、取り組みを教員自身が知り、それぞれの学年に応じた、ふるさとを大切に学習を進めていきたいと思えます。さらに、子どもたち自身が、日南町のよいところを語るができるよう、日南町のことを話題にしたり、よさを伝えたりしていきましょう。

		単位:%	
5. 家庭での生活・基本的な生活習慣について		後期	前期
保護者	早寝早起きなど家庭生活のリズムが身につくようにしている。	87	85
保護者	家庭で、自分のことは自分でさせたり、お手伝いをさせたりしている。	86	91
児童:下	朝は、自分で起きている。	61	62
児童:上		67	67
保護者	毎朝、朝食を食べて登校させている。	99	97
児童:下	朝ごはんを、毎日食べている。	93	98
児童:上		96	96
教職員	給食指導で自分に適した量を考えて食べたり、好き嫌いを克服したりすることで望ましい食習慣の定着をはかっている。	94	93
保護者	お子さんと、メディア(ゲーム、テレビ、スマホなど)について家庭で約束を決めている。	73	80
児童:下	テレビを見る時間やゲームやスマホなどを使う約束を守っている。	79	89
児童:上		62	73
教職員	意欲的に運動や体力づくりに取り組むことができるよう支援・指導している。	71	69
児童:下	進んで体を動かして体力づくりに取り組んでいる。	84	93
児童:上		83	85
教職員	毎日の歯磨き指導を通して、児童が自ら、歯や口の健康に取り組むように指導している。	66	60
児童:下	家でも学校でも、食事の後にはていねいに歯をみがいている。	96	94
児童:上		87	84

生活リズムの定着や朝食について多くのご家庭が実践してくださっています。朝、自分で起きている児童の割合は6割強という結果でした。朝の起床は、自立への一歩とも言われます。メディア利用について、後期では73%と80%を下回っており、対策を講ずる必要があります。メディア利用のルールが曖昧だと、夜更かしやネット上のトラブルに繋がり、生活の安全を脅かします。例えば、「ノーメディアデー」の設定など、学校と家庭、大人と子どもが一体となったキャンペーンなどを進めていくこともよいと思われます。

また、具体的なお意見も記述していただき、ありがとうございました。今回のアンケートの結果やいただいたご意見から、「物的な安全」の確保とともに、「心の安全」を同時に高め、誰もが安心して学びに没頭できる環境づくり、ちょっとした不安でも気軽に相談できる体制づくりに取り組み、児童を核にして、学校・家庭・地域が連携した教育を進めていきたいと思っております。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

## スキーが好きー！

2月6日(金)に、だいせんホワイトリゾートで、4・5・6年生のスキー教室を行いました。指導ボランティアとして、保護者の方、地域の方に大変お世話になりました。けがなく安全に滑れるよう教えていただき、子どもたちはみるみる上達しました。指導ボランティアの皆様、子どもたちに達成感を味わせていただき、ありがとうございました。



## 2月参観日

2月18日(水)は、今年度最後となる参観日でした。お忙しい中、ご来校いただき、ありがとうございました。1年間の学習の成果を発表したり、一生懸命に自己表現をしたりしている子どもたちの様子から子どもたちの成長した姿をご覧いただけたことと思います。今年度も残りわずかとなりました。引き続きご支援・ご協力をお願いします。



## 安心・安全な活用を！新タブレット端末

2月24日(火)、新しいタブレット端末の貸与式を行いました。新タブレットに興味津々の子どもたち。タブレット端末は、学習内容をわかりやすくしたり、学びを深めたりするための道具として、教育委員会から貸し出されたものです。さらに、子どもたち自身の自己管理能力の向上の一助にもなると考えます。しかし、便利な反面、使い方によっては取り返しのつかないことが起こりかねません。タブレット端末の安全な活用に向け、学校でも指導していきますが、ご家庭でも正しく、適切に使用できるようご理解とご協力をお願いします。



## にちなんっ子の活躍

★第44回とっとり読書絵てがみ  
感想文コンクール

【絵てがみの部】

優良賞 一年 木口 絢人

## 令和7年度 日南中学校 学校評価アンケート結果【令和7年6月・12月実施】

- ・肯定的評価・・・A:よくあてはまる B:おおむねあてはまる
- ・否定的評価・・・C:あてはまらない D:全くあてはまらない
- ・増減・・・1学期に実施したアンケート結果と比較した増減

### I. 生活面について

(%)

	質問項目	肯定的評価	
		2学期	増減
1	お子さんは、学校生活を楽しく過ごせている。	96	7
2	お子さんは、毎日、歯磨きをしている。	91	2
3	お子さんは、「早寝、早起き、朝ご飯」(生活リズム)が身についている。	83	20
4	お子さんは、公(おおよけ)の場に適した会話や行動ができています。	91	-1
5	お子さんは、メディア(ケータイ、スマホ、ゲーム、テレビなど)は家庭で約束を決めて時間をコントロールできている。	61	5
6	お子さんは、周りに流されることなく、自分が正しいと思った言動を行うことができる。	87	20
7	お子さんは、困りごとや悩みごとを相談できる友達がいる。	74	-4
8	先生方は、悩んだり困ったりしている生徒の相談にのったり助言したりしてくれる。	87	2
9	先生方は、生徒をよく見ている。	91	-1
10	先生方は、子どものよいところを認めたり、ほめたりしてくれる。	87	-6
11	私は、お子さんと、学校であったことをよく話をします。	91	6
12	私は、お子さんの学校の事(学習・進路、生活・友達)について、よく相談にのっている。	87	2
13	私は、お子さんのよいところを認めたり、ほめたりしている。	91	2

・保護者の約95%、教職員の100%が、生徒は学校生活を楽しく過ごしていると肯定的な回答をしている。保護者については、1学期よりも7%高い結果となっている。

・家庭での歯磨きは、約90%できていると回答しているが、学校での給食後の歯磨きはどの学年も1学期よりも平均約9%低くなっており、約50%弱の生徒しか取り組めていない。今後も引き続き、学校歯科医との連携や保健委員会等と連携した呼びかけや取り組みを行っていく必要がある。

・早寝、早起き、朝ご飯(生活リズム)については、保護者の約80%は、肯定的な回答をしており、1学期よりも約20%高くなっており、保護者の意識の高さが見られる。一方、肯定的な捉えをしている生徒は約50%であり、生徒の意識を高める工夫や実践力を身につける必要がある。

・メディアの使い方については、教職員では約50%、保護者では約40%が課題意識をもっており、生徒も約40%が1学期よりもルールを守れていないと感じている。今後も、学校と家庭が連携して正しい使い方や使用時間のルール等、自己コントロールできる力を身につけていく必要がある。

・周りに流されることなく、自分が正しいと思った言動を行うことができるかについては、保護者は約89%、教職員は約80%、生徒の約65%が肯定的な回答をしている。皆が居心地のよい学校を目指すという点において、周囲の状況を判断し、行動することを今後も大切に指導していく必要がある。

・悩んだり困ったりしている生徒の相談にのったり助言をしたりしていると肯定的な回答をした教職員は約90%で1学期よりも5%上がっており、保護者の87%も肯定的な回答をしている。

また、生徒も93%が肯定的に捉えており、1学期よりも10%高くなっている。普段から相談しやすい関係づくりができていると言える。また、生徒のことをよく見てくれているという質問に対しても保護者の肯定的な回答は、約90%であり、今後も生徒との良好な信頼関係を築くことが大切である。

・生徒のよいところを認めたり、ほめたりしているという肯定的な回答をした保護者は約87%で1学期よりも6%低くなっており、教職員は100%であった。一方、生徒は、約80%が肯定的に捉えている。また、お子さんのよいところを認めたり、ほめたりしている保護者は約90%であり、1学期よりも2%高くなっている。学校でも家庭でも生徒に対して、自尊心や自己肯定感が上がるような声かけや関係づくりに心がけている成果が見られる。

・お子さんと学校であったことをよく話すと肯定的な回答をされた保護者は約90%であり、1学期よりも6%高くなっている。お子さんの学校のことについてよく相談にのっていると肯定的な回答をされた保護者は87%で、家庭での親子のコミュニケーションが良好であることがわかる。また、悩んだり困ったりしている生徒の相談にのったり、助言したりしていると肯定的に回答した教職員も約90%おり、今後も生徒に寄り添った対応を心掛けたい。

## II. 学び続ける力について

1	お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。	70	10
2	お子さんは、宿題等、提出物の期限を守っている。	78	15
3	お子さんは、宿題・予習・復習・テスト勉強など、毎日家庭学習に取り組んでいる。	61	9
4	お子さんは、わからないところを人に聞いたり、復習したりして、解決している。	52	8
5	先生方は、わかる授業づくりや、勉強の仕方のアドバイスをしてくれている。	74	0
6	先生方は、学ぶ楽しさ(新たな事がわかったり、できたり)を体験させてくれている。	74	7
7	お子さんは、目標に向け、自分の学力を伸ばそうと自ら努力を続けている。	74	15
8	お子さんは、勉強や部活などで、難しいことも最後まであきらめず取り組もうとしている。	87	2

・チャイムが鳴るまでに授業の準備をする、人の話を注意して聞く等の学習規律は、88%の生徒ができている。しかし、授業中に進んで学習に取り組んでいると肯定的な回答をした教職員は約82%で1学期よりも18%低くなっている。保護者は、学習への意欲について肯定的に捉えている数値は、約70%で1学期より10%上がり、また、宿題等、提出物の期限を守る等の学習への取り組みについては78%で1学期よりも15%上がるなど、家庭での取り組みはよくなっていると感じている。

・計画的な家庭学習には、保護者は約40%、教職員は約45%が課題意識をもっている。家庭と連携した取り組みの工夫していく必要がある。

・生徒が分かる授業づくりや勉強の仕方のアドバイスをしているかについては、保護者の約74%、教職員の約55%が肯定的な回答をしている。教職員については、1学期よりも低くなっており、今後、さらに教材研究や分かる授業等に努めていく必要がある。

・お子さん(生徒)は、目標に向け、自分の学力を伸ばそうと自ら努力を続けていると肯定的な回答をした保護者は約74%、教職員は約63%であった。昨年度より、両者とも高くなっており、今後も生徒の努力を認め、励ましながら助言や支援を行うようにしていきたい。また、勉強や部活など難しいことも最後まであきらめずに取り組もうとしていると肯定的な回答をした保護者は約87%、教職員は約72%となっている。保護者は昨年度よりも約40%、教職員は昨年度よりも約30%高くなっている。今後も、学校と家庭が同じ方向を向き、正しく情報共有を行い、それぞれ目標を意識した取り組みを継続して進めていく必要がある。

### Ⅲ. 関わり合う力について

1	お子さんと、家庭であいさつ（おはよう、ただいま、おやすみなど）をし合っている。	100	4
2	日南中の生徒は、校外で地域の人と出会うと自分からあいさつをしている。	70	-12
3	お子さんは、周りの人を気遣った声かけや、思いやりのある関わり（行動）がとれている。	96	7
4	お子さんは、学校生活（学習・行事・部活動）で友達と関わり、高め合うことができている。	78	1
5	お子さんは、家庭で自分の気持ちや思いを伝えることができている。	91	-1

・家庭でのあいさつは、100%の保護者が肯定的な回答をしており、学校でのあいさつは約72%の教職員が肯定的な回答をしているが、校外で地域の人と自分からあいさつができていると肯定的な回答をした保護者は約70%と回答し、昨年度よりも約10%高くなっており、主体的に関わることができる生徒が増えてきている。

・授業中ペアや班の話し合いで、進んで自分の考えを言っているかは、約72%の教職員が肯定的な回答をしている。また、学校生活で自分の気持ちや意見を相手に伝えることができるかでは、肯定的な回答をした教職員は約72%で、今後も安心して思いが伝え合える人間関係づくりや学級づくり等、関わり合う力の育成に取り組みたい。

・周りの人を気遣った声かけや人が困っていたり悩んでいたるときに進んで声かけをするなど、思いやりのある行動がとれるかでは、保護者は約96%、教職員は約63%が肯定的な回答をしている。1学期と比べて、保護者では約7%高く、教職員では約20%低くなっている。今後も人権教育を基盤とした人間関係づくりの充実に取り組む必要がある。

・学校生活で友だちと関わり合い、高め合うことができているという肯定的な回答をした保護者は約78%であった。チームで進んで協力して取り組んでいるという肯定的な回答をした教職員は100%であり、1学期に比べると14%高くなった。学校行事で培った力が学校生活の充足感などにつながり、日々の問題も自分たちで自治的に解決することにつながっているといえる。

・部活動では、部員と公平に協力して準備や片付け等を行うことや部活の目標に向けてアドバイスし合うことについては、教職員の約63%が肯定的に捉えている。1学期に比べると、約20%低くなっているため、部やチームとしての目標や個人の目標を立て、皆で取り組むようにしていきたい。

### Ⅳ. ふるさとを愛する心について

1	お子さんは、地域の行事や活動に進んで参加した。（町美術館や道の駅、えんがわのイベントなども含む）	65	21
2	私は、お子さんに、ふるさと日南の良さをもっと知ってほしいと思う。	78	-14
3	私は、お子さんと、将来や夢について話をすることがあった。	83	12
4	私は、お子さんと、ふるさと日南の未来について話をすることがあった。	35	27

・地域の行事や活動に進んで参加しているかは、保護者の肯定的な回答は約65%で、昨年よりは約20%低くなっている。教職員の働きかけは、1学期よりも20%近く上がっている。学校からも積極的な参加を促す声かけや情報発信等を行っていく取り組みをしていきたい。

・日南のよさをもっと知ってほしいと思うについて、保護者は約78%、教職員は100%が肯定的な回答をしており、昨年よりも保護者は15%高くなっている。家庭で日南の未来について話をしているという肯定的な回答をした保護者は約83%、日南の未来について考えさせることがあったと回答した教職員は約81%で1学期よりも25%高くなり、日々の活動の中で日南のよさや未来について考える機会を作っていることがう

## V. 学校の取組・連携について

1	学校は、教育目標や身につけてほしい力などわかりやすく伝えている。	65	-9
2	学校は、生徒や親の願い、思いを聞こうと心がけ、丁寧に対応している。	78	-11
3	学校は、学級便り、ホームページ、電話、家庭訪問などを通して学校の様子を伝えている。	91	2
4	学校や町の便りなどを通し、コミュニティ・スクールの目的や活動は理解している。	78	4
5	私は、学校からの便りや配布物には目を通してしている。	87	6
6	私は、参観日や行事などできるだけ学校へ行くようにしている。	83	-6
7	私は、子どものことで心配なことやわからないことがあれば担任等に連絡するようにしている。	87	5

・学校目標や身につけてほしい力などわかりやすく伝えているかは、肯定的な回答をした教職員は約90%で、保護者も約65%が肯定的に捉えている。保護者については、昨年度よりも15%高くなっており、今後も、学校と家庭が協働して目標に向かって取り組めるように努力していきたい。

・生徒や親の願い、思いを聞こうと心がけ、丁寧に対応していると肯定的に回答した教職員は、約91%で、保護者も約78%であり、差が見られる。今後も一層、生徒、保護者に寄り添った対応や信頼関係づくりに努めていく必要がある。

・学校だより、ホームページ、電話、家庭訪問等を通して学校の様子を伝えていると肯定的に回答した教職員は100%で、保護者が約91%であり、今後も、わかりやすい情報発信に努めていきたい。

・学校や町の便りなどを通してコミュニティ・スクールの目的や活動を理解していると肯定的に回答した教職員は約45%、保護者は約78%で、教職員は昨年よりも下がっている。一方、保護者は昨年よりも約22%高くなっており、理解が浸透してきていると言える。今後もCSサポーターを活用した取り組みの充実や情報発信の工夫をしていくながら、理解を深めていきたい。

・学校からの便りや配布物等に目を通したり、参観日や学校行事などで来校したりしている保護者は約83%で、お子さんの活動の様子や学校の取り組みに関心を持たれている。また、お子さんのことで心配なことやわからないことがあれば、担任等に連絡されている保護者は約87%となっている。引き続き、いつでも相談できる信頼関係作りに努めていく必要がある。

## VI. その他、学校へのご意見ご要望があればお書きください。

・特になし 9人

・ホームページに、高校入試などの情報を見られるようなページがあれば助かります。入試が変わってきている中で、色々な手段で調べる途中で迷子になってしまい、なかなか得たい情報に行き着きません。一覧でその年の入試情報がまとめてあると(変更時には教えてもらえると)本当に助かります。

→ここ数年で入試方法が変わり、入試に関する情報もホームページ等で多く発信されています。最新で正確な情報をえるためには、県立高校は鳥取県教育委員会高等学校課のホームページ、米子高専・私立高校は各学校のホームページをご覧頂くのが、一番良いかと思います。中学校も、入試説明会等に参加し、必要な情報等は受験生・保護者の皆様にお伝えするようにしています。なお、入試に関して知りたい情報やお困りの点等がありましたら、学校までご連絡ください。

・思春期もあり、我が子は何かが言われても我慢してしまうので、人間関係がうまくいかず、家でイライラしております。勉強もなかなか手につかないようで・・・授業では人権学習をよくしているようですが、見えないところで・・・がやはりあるようです。家でもケアはしていますが、言葉の力はよくも悪くも絶大です。どうか引き続き、指導の方をよろしく願います。

→お子さんの状況を伝えていただき、ありがとうございます。学校では、皆に居心地のよい学校を目指して取り組んでおり、周囲の友だちが嫌な気持ちになるような発言をしないように気をつけるなど、自分自身でコントロールし、お互いが気持ちよく過ごせることを目指して指導を行っていますが、まだ不十分な面もあると思います。今後、心配な点や悩まれる事等があれば、学校へご相談ください。

・毎日、ありがとうございます。楽しそうに通学しています。

・薄手のハーフパンツを採用してほしいです。夏場はスカートの下や部活動も暑いと思います。是非、検討してください。

→基本的に体操服は、体育の時間や部活動の際に使用するもので、使用するときに着替えることとしています。制服の下に着るための用途としては、支障があることもあると思います。スカートの下に着用する場合は、各ご家庭で準備していただくと助かります。

・iPadの使い方が本人任せであり、心配しています。

→iPadは、学習のために教育委員会から貸与されているものです。生徒たちは、それを理解して日々の学習や活動に使用しています。特に、使用時間や使用の仕方は学校でも指導しています。ご家庭では、使用時間など、ルールを決めて使用できるよう声かけをお願いできたらと思います。

・うちは完全な不登校なので、アンケートの一部に入れられる事で全体の評価が低くなるので、そこが気になります。日南は人数が少なく、1人の評価も大きく影響しますので、先生方の努力評価が低くなるのはいかがなものか。それも含めてだと、評価する意味があるのか。よくわかりません。

→貴重なご意見ありがとうございます。率直なご意見を頂けることは有り難いことですので、評価が下がることを気にされなくても大丈夫です。今後ともご協力をお願いします。

・進路相談をもっと積極的に取り入れてほしい。1年生のうちから、進路について勉強してもよいのでは？

→中学校では、段階的に進路学習を行うように計画しています。1年時では、進路に向けて「職業調べ」の学習を行い、町内で働く方から、就労に対する気持ち、仕事の内容などを実際に聞き取り、自分の将来に向けて考える機会をもっています。

・クラスの先生が話しやすく、教室でリラックスできているようです。ありがとうございます。

・学校のホームページを楽しみにしています。

・先生にもよりますが・・・もっと子どもたちの意見などを尊重したり意見を聞き入れてくれたりする先生が増えるとすごく有り難いと思います・・・やはり先生との信頼関係はそこからだと思います。

→教職員も生徒に寄り添い、良好な信頼関係を作ることを目指しています。今後も努力していきたいと思っています。

・テスト解答用紙を返却される際、問題が難しすぎたとか範囲外の問題があったとか言われることがあったようです。

→再度、教職員で共通理解を図り、徹底していきたいと思っています。